

極秘資料

主体〇二(2013)年度  
在日本朝鮮人教育会 中央常任理事会事業方向及び事業計画

主体〇二(2013)年2月

新年主体一〇二(二〇一三)年は私たち民族の歴史で特記する事変である共和国創建六五周年と祖国解放戦争勝利六〇周年を迎える意義深い年であり、私たちの祖国が敬愛する金正恩元帥様の指導に従い金日成、金正日朝鮮の新たな主体一〇〇年代の進軍の道で社会主義強盛国家建設の転換的局面を開く大きな創造と変革の年である。

総連は、在日朝鮮人運動発展の歴史において重要な位置を占める今年、二〇一三年の基本方向を敬愛する金正恩元帥様の思想体系、領導体系をより強固にするための中心に置き、総連組織をしっかりと固め、民族教育事業と新世代、同胞商工人との事業を現実的な発展の要求に合わせて斬新で活力ある開かれた総連を、伝統が固く群衆の地盤が強く、前途洋々たる威力のある組織として作り上げるために新しい全盛期の活路を力強く開くことになった。

そのために総連は、新たな主体一〇〇年代の総進軍に、

山岳のように轟かず祖国の人民と歩調を合わせ、同胞を守り、総連組織を固守するために丸一年間、緊張した態勢を堅持し、一瞬の停止もなく総攻撃戦に一体となって決起していくことを提示した。

今年の教育会事業はこのような基本方向に従い、変化した情勢と教育的環境に合わせて教育会組織内部をいっそう強固に固めることを中心に置き、各単位ごとにすでに整えた学校運営の土台をいっそう強固化する一方、新しい財源を確保し学校を愛し、民族教育権を擁護拡大するための大衆運動を斬新に開き、その幅を決定的に広げることにより注力し事業を推し進める。

そして、敬愛する金正恩元帥様が総連に送ってくださった新年祝電の中で、主体偉業の高い要求に沿って在日朝鮮人運動も転換的局面を開くため、新しい全盛期を開拓するための闘争に大きな歩みを前に進めなければならないという懇切

な教えを心臓深く刻み、今年の教育会事業で新しい成果と前進を成しとげるために全力を尽くす。

1、教育会組織の中に敬愛する金正恩元帥様の思想体系、指導体系をうち建てる事業をより力強く展開し、決定的に深化させる。

(1) 教育会専任イルクン(訳注:イルクンは専従活動家以下同じ)がいかなる環境の中でも敬愛する金正恩元帥様を真心をもって仕え、領導的権威を決死擁護するまことのイルクンとして徹底して準備させることに先次的な力をむける。

①イルクンの中で敬愛する金正恩元帥様の労作と偉大性に対する学習を強化していく。  
敬愛する金正恩元帥様が発表された労作と強盛国家建設と人民生活向上のために現地指導の道を休みなく続ける現在の活動についての各種資料学習を旺盛にくりひろげる。

②イルクンの中に金正日愛国主義教養を深化させる。  
金正日愛国主義教養を原理的に深く進め、彼らが祖国愛と同胞愛、次世代愛で心臓を焦がし、同胞の学父母の中に深く入り、献身することによって教育会の前に提起された課業遂行に生きた活力がうまれるようにする。

③〈イルクン革命化の年〉である今年の要求にあわせ、

イルクン学習班と職級別学習体系を通して思想教養事業を決定的に強化する。

イルクン学習班の運営を正常化し、その水準を高め、学習に参加しないイルクンがいらないよう強い規律をうち立てる。

また総連イルクンの短期講習を始めとする各種の講習に対象となるイルクンが抜けることのないよう参加するようにする。

④共和国創建六五周年、祖国解放戦争勝利六〇周年を迎える今年にさまざまな形で組織された祖国訪問団に教育会のイルクンを網羅し、敬愛する金正恩元帥様の賢明な指導のもと躍動する祖国の中で学べるよう事業を積極的に組み合わせる。

(2) 教育会の非専任理事に対する思想教養事業を、対象の実情に合わせて積極的に組み合わせる。

①〈朝鮮新報〉を始めとする出版宣伝物とインターネットで紹介されている資料を積極的に活用し、敬愛する金正恩元帥様の偉大性に対する解説宣伝事業を深化させる。

②祖国愛、民族愛、主体の情勢観と総連愛国偉業の正当性を深く認識させるための教養事業を偉大性教養と密接に結合させ、さまざまな形式と方法で組織する。

2、各級教育会組織を強固に整え、その機能と役割をより高めることに大きな力を注ぐ。

(1) 教育会のイルクンの中で組織生活を決定的に改善強化する。

イルクンの中に隊伍の一心団結をより強化し、全てのイルクンが組織規律、事業規律を徹底してうち立て、任された事業を責任を持って遂行させる。

特に、全ての単位で月別に組織思想生活総和(訳注:総和とは総括のこと)を正常的に進め、批判と自己批判を強化し、政治思想的鍛錬を強化していく。

そして、今年の教育会のイルクンたちの組織思想生活総和を丸一年間、緊張態勢を堅持し、一瞬の停止もなく総攻撃戦をくりひろげる思想精神的覚悟と事業態勢を備えるうえで徹底して服従させていく。

(2) 教育会の非専任イルクンたちが教育会の役員になった誇りと自負心を抱き、任された事業をうまくやり遂げるための教養事業を実情に合わせて対象化して根気強く進める。

(3) 中央教育会の指導性を高め、都道府県教育会と各級学校教育会の機能と役割を高めるための指導補助事業を強化する。

このために中央教育会と各都道府県教育会、各級学校教育会の間で交わした報告、通報、伝達体系を再整備し、迅速

整えることに注力する。

――初級部新入生受け入れの源泉である二歳の保育班と幼稚班に園児を積極的に受け入れる事業にこれまでにない関心と力を入れる。

――幼稚班を組織できない学校では各級機関の協力のもと、(幼児教室)を組織するようにする。

――初級学校と幼稚班において給食と(学童保育)、(年長保育)、(学校の休日保育)など学父母が望み、広範囲に同胞を朝鮮学校に受け入れるのに有利な条件を整えるための可能性を探し出し実現していく。

(2) 造りだされた情勢と民族教育事業が置かれた今日の緊張した状況に合わせて学校運営の自立的な土台をしっかりと固めていくため学校愛、支援運動を力強く展開していく。

①(学校愛一口運動)の幅をより拡大する。

――現在、各学校で展開している(学校愛一口運動)の実態を正確に分析掌握し、新学年度から小額、多口座を基本にしていっそうの拡大ができるよう対策を立てる。

特に青年商工会と(母親会)、(父親会)、(同窓会)に網羅された新世代を始めとした広範な同胞の集まりをこの運動に積極的に引き入れ、各教育会ごとに口座数を現在より各一、三倍以上に拡大する目標を立て、事業をすすめる。

また、毎学期末ごとに教育会理事会で(学校愛一口運動)の推進状況を必ず総括し改善対策を討議するようにする。

に運営されるよう該当した対策をたてる。

また、教育会の活動家の行政実務能力を高めるための事業を目的意識的に進め、学校運営の合法性を固守することに力を注ぐ。

3、不退転の覚悟で今年の教育会に提起された基本事業を遂行していく。

(1) 学生引き入れ事業と日本の学校への転出を防ぐための事業に全機動的な力を入れる。

①朝鮮学校卒業生を中心に各階層の同胞の中で教育講演会、シンポジウムを積極的に組織し、民族教育の優越性をより幅広く解説、宣伝する。

②全ての教育会で対象の同胞との事業をねばり強く広げていく。

当面二〇一三学年度の入学式まで引き入れ対象の同胞との事業を継続しておく。

次に、二〇一三学年度一学期内に二〇一四年度学生及び、園児引き入れ対象名簿を取り揃え、次の二〇一四年三月の末までに段階別に事業を計画的に押し進める態勢を整える。

③日本学校へ転出が憂慮される対象をあらかじめ捕捉し、日常的な接触を通して説得教養をするようにする。

④初級部の新入生を受け入れるのに有利な条件と環境を

――(学校愛一口運動)をまだ展開できていない単位ではこの運動に対する解説宣伝事業を強化し、各階層の同胞が参加できるように具体的に事業を押し進める。

①(バザー)、(チャリティ・ゴルフコンペ)を始めとした学校愛、支援運動をひき続き力強く展開し、大衆の力と知恵を集め実情に合わせて新たな教育財政の源泉を確保するための事業を総連本部の指導のもと、全機動的な力を斬新に展開していく。

②学校創立周年記念行事を始めとするさまざまな機会を積極的に利用し、朝鮮学校卒業生と学父母、各界各層の広範な同胞を網羅する愛校親睦会を整える事業を展開していく。

③学区管下の有力商人を始めとする賛助者の隊列を広げる事業をひき続き大きな力を注ぐ。

(3) (四・二四教育闘争)六五周年を迎える今年に民族教育の権利を守り拡大するための事業において明らかな前進と成果を達成する。

①変化した状況に合わせて朝鮮学校に(高校無償化)を適用させるための闘争をひき続き深化させる。

――教育会のイルクンと同胞の学父母の中において朝鮮学校に(高校無償化)を適用させるための闘争が、わが民族教育のさまざまな権利を守るうえで現在の最も先鋭化した問

題になつてゐることを深く認識させる。  
——毎時期に組織される(「高校無償化」)のための各種の闘争に広範な愛国力量と対外力量を総動員し最後まで戦う態勢を整えていく。

②教育助成金給付と税制上の差別撤回を始めたとする対外事業を継続して強く展開していく。

——日本の自治体の各定例議会に向けて教育助成金給付と税制上の差別撤回を始めとする対外事業で明らか前進を達成するための闘争態勢を手抜かりなく整える。

——政治問題を人為的にかませたり、日本経済の不況と財政難を始めとした様々な口実で教育助成金を保留、停止削減しようとする日本行政当局の動きを適時捕捉して迅速な対策を立て、大衆的行動を展開していく。

——教育助成金支給と関連した要請運動を前向きに展開するための実務対策と情報収集に力を入れ、この事業に影響がある親朝鮮関係者が積極的に協力するようにする。

——(「朝鮮学校を支援する会」)、(「外国人学校協議会」)のような対外親善協力団体がより多く生まれるようにひき続き大きな力を注ぐ

(4) 教員の人件費を保障し、教員の生活を保障するような事業に格別な関心を持ち、問題解決のための有効な対策をたてるために注力する。

①同胞訪問事業を力強く展開し、同胞との事業を深くおこなつていく。

——教育会のイルクンが足が擦り切れるくらい同胞の中に入り、二〇代、三〇代、四〇代を中心に朝鮮学校出身者すべて探し出してまとめるうえで先頭に立つ。

——各級学校、学区単位で卒業生を中心にさまざまな事情により組織とのつながりが切れていたり、思想や政見、所属団体が違う各界各層の同胞の名簿を幅広く把握し、彼らが在日同胞社会を固守拡大するために民族教育事業に大きな関心を持つよう宣伝広報事業を主導的に展開する。

②民族文化運動を拡大、強化することに積極的に貢献する。

このために各教育会が学校施設を利用して、総連支部と団体の組織する講座や教室、文芸体育小組活動など各種の群衆行事が果実に進むよう後盾となり、民族的なく受け皿と事業の種類拡大させる。

(6) 三大愛国課業を遂行するための事業を力強く押し進める。

①敬愛する金正恩元帥様を統一の救いの星として高く奉じ、全民族の団結した力で祖国統一の新しい局面を開いていくことに積極的に貢献する。

——卓越し、洗練された領導で自主統一、平和繁栄の前途を開いてお行きなされる敬愛する金正恩元帥様の偉大性を南

①教員の人件費を保障するための資金捻出により大きな力をいれる。

——すべての教育会において各種の収金事業を定めた日までに徹底して進めるようにする。

特に学校運営費をすべての学校において一〇〇%撤収することに力を傾ける。

——賛助者の隊列をいっそう増やす一方、事業収入を増やすための新しい方法を探し出すことに格別な力をいれる。

これとともに、経費節約運動を継続して展開する。

②人件費問題解決のために全組織的な対策が強く求められるなか、各教育会が責任と役割を果たすべきである。

③教員との事業を徹底して人との事業に転換させ、教員と一心同体になり事業を進めていく。

——学校長、教職同分会長との緊密な連携のもと、教員の生活上提起される問題を適時に了解、把握する態勢を整える。

——教育会のイルクンが教務委員会に参加し学校教育事業の方向と計画を理解し、教授教養の状況と教員の事業について深い関心を持つようにする。

——地方出身の若い教員を中心に教員との個別談話事業を進め、教員の生活上の悩みを解決することに力をつかう。

(5) 民族教育事業を中心に置き、学父母を始めとした各界各層の同胞との事業を積極的に進め、同胞社会を民族性に溢れ、団結した、仲むつまじい、躍動する力ある同胞の地域として整えていくことに積極的に貢献する。

朝鮮の人民の中に広く知らしめる宣伝事業を展開する。

——北南関係改善と共同宣言(訳注…)の履行を妨害する反統一勢力の策動を潰すため政治宣伝を強化し自主・民主統一のために南朝鮮の各界各層の闘争を積極的に支持応援すること。

——四月の連席会議(訳注…一九四八年四月南北の指導者が平壤に集まった会議)の六五周年、祖国解放戦争勝利六〇周年を迎える今年に朝鮮半島の戦争状態を終息させ、六一五共同宣言(訳注…二〇〇〇年6月15日金正日と金大中大統領が発した宣言)と一〇、四宣言(訳注…二〇〇七年十月四日、金正日と盧武鉉大統領が発した宣言)徹底して履行するための挙族的運動に日本を始めとした海外同胞が合流できるように先導する。

——祖国統一事業を機関化し、新世代が主役になる多様な統一運動と民団下層の同胞との団合事業を強化していくこと。

②造りだされた情勢の要求に合わせて対外事業をいっそう強化する。

——敬愛する金正恩元帥様の偉大性の宣伝をしつかりと把握し多様な対外政治宣伝事業を積極的に展開する。

——日本の進歩的教育団体と良心的人物、学父母組織が日本当局の対朝鮮制裁解除と朝日平壤宣言の履行を促す世論造りに大きな力を入れる。

——現時点で造りだされた民族教育を取り巻く暗黒のような情勢に主導的に対処するために各地方ごとに教育権擁護、拡

大のため日本の自治体と地域のさまざまな団体との対外活動をより活発に展開し、朝鮮学校マダン(訳注:祭り)を通じた多様な朝日友好親善行事を旺盛に組織進行するようにする。  
③金正日愛国主義を高く発揚し、祖国の経済強国建設に特色ある貢献のための事業を各単位の実情に合わせ積極的に展開する。

#### 4、組織政治事業に対して

①各級学校教育会に対して指導補助事業を強化する。

何よりも各教育会のイルクンたちの政治思想生活を強化することに関心をかたむける。

次に各教育会がすでに決めた制度に従って、事業状況を適時に報告する規律と秩序を徹底してうち立てるようになる。

そのために月末報告書を始めたとした各教育会の事業状況を指定された期日に必ず報告するようにする。

また昨年の教訓を生かし、二〇一二年度の学校運営決算報告書と二〇一三学年度教育会イルクン(理事會)名簿を指定した期日内に作成し、提出(六月初旬まで)することによって、今年の事業計画の執行に支障がないようにする。

——今年、各教育会で提起された実務的問題を迅速に処理できるように指導と補助を強化する。

②今年、朝鮮高校所在地の都道府県教育会の役割を決定的に高める。  
そのために中央教育会が朝鮮高校所在地の都府県教育会との連携をより緊密にし、その指導統制のもと管下の各級学校教育会事業が推進されるよう、事業秩序をより徹底してうち立てる。

③中央教育会の戦闘力を決定的に高める。  
なによりもイルクンたちの政治思想的、実務的資質を高めるうえで大きな力を傾ける。

次に中央教育会が任された使命と任務に合わせて学校支援のための財政的な基盤を構築するための事業を一層深化させる。

\* \* \* \* \*

中央教育会は在日朝鮮人運動の新しい全盛期の開拓の活路を切り開いていくことにおいて、今年が占める位置と重要性を深く認識して、提示された事業計画をたがうことなく遂行するための闘争を力強く展開していく。

そうして敬愛する金正恩元帥様に対する忠誠心を基礎とした隊伍の一心団結をいっそう強化し、不屈の信念を抱いて任された任務を責任を持って遂行することによって今年二〇一三年をはっきりとした事業成果で光輝かせていく。